

報道関係者各位

2020年1月21日

**2019年度 B-DASH プロジェクトにて「ICT 技術(クラウド AI システム)を用いた汚水マンホールポンプのスマートオペレーションの実証」への取り組みを展開
 <下水道施設を効率よく管理する革新技術の実証研究を展開しております>**

株式会社新日本コンサルタント（代表取締役社長：市森 友明、本社：富山県富山市、以下「新日本コンサルタント」）は、国土交通省が実施する下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）（※1）において、新日本コンサルタントを含む 5 者からなる共同研究体（※2）で提案した「ICT 技術(クラウド AI システム)を用いた汚水マンホールポンプのスマートオペレーションの実証事業」に 2019 年度実施事業として取り組んで参ります。

共同研究体のそれぞれの役割	
(株)新日本コンサルタント	全体とりまとめ 統合管理クラウドシステム構築
(株)日水コン	ストックマネジメント支援システム構築
エコモット(株)	AIエンジン搭載検知予測システム構築
北海道大学	AIエンジン搭載検知予測システム構築
富山市	フィールド提供

※1 新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業におけるエネルギー利活用の効率化やストックの LCC（ライフサイクルコスト）低減等を推進し、水ビジネスの海外展開を支援するため、平成 23 年度より国土交通省が実施している実証事業です。公募・有識者審査により採択された革新的技術について、受託者が実規模プラント等を設置し、効果の実証を行うものです。

新日本コンサルタントでは平成 27 年度の「都市域における局所的集中豪雨に対する雨水管理技術実証事業」に続き2件目の採択となります。

※2 共同研究体はエコモット株式会社（代表取締役：入澤 拓也、本社：北海道札幌市中央区）、株式会社日水コン（代表取締役社長：間山 一典、本社：東京都新宿区）、国立大学法人北海道大学（総長：名和 豊春、本部：北海道札幌市北区）、富山県富山市（市長：森 雅志）、及び株式会社新日本コンサルタントの 5 者で構成されます。

■実証事業の概要

汚水マンホールポンプ場（以下、マンホールポンプ）は、全国に約 47,000 基設置されています。老朽化した施設の維持管理・更新費用が年々増加するとともに、数多くのポンプ場を有する自治体においては、維持管理の人材不足といった課題が顕在化しつつあります。このような課題に対し、本事業では、マンホールポンプの維持管理データや IoT 計測データをクラウドで一元管理し、AI 技術を活用して異常検知や劣化予測をすることにより、マンホールポンプの維持管理の効率化及びライフサイクルコスト（LCC）の削減効果を実証します。実証フィールドは、多くのマンホールポンプ場を有する富山市を対象に、360 箇所のうち 60 箇所において IoT 機器の設置を終え、実証を展開して参ります。

実施者名：(株)新日本コンサルタント・エコモット(株)・(株)日水コン・北海道大学・富山市 共同研究体

実証フィールド：富山市 マンホールポンプ場 60 箇所

実証期間：2019 年度～

※本事業は国土技術政策総合研究所からの委託に基づき実施します。

現状の課題

経過年数等を基準とした一律の点検、機器交換、すべて人手による作業のため維持管理・ストックマネジメントの現場において人手が不足

実証技術

ポンプ個別の状態に応じた維持管理・ストックマネジメントを IoT でサポートすることで、現場の人手不足状態を解消

